

大学番号 私立3

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

**認可**

日本医療大学 保健医療学部 臨床検査学科

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 日本医療大学

令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

事務局

職名・氏名

ジムキョクジツョウ カタギリ ユウイチ  
事務局次長・片桐 裕一

電話番号

011-351-6100

（夜間）

011-351-6100

e-mail

[houiin-g@nihoniryo-c.ac.jp](mailto:houiin-g@nihoniryo-c.ac.jp)

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

保健医療学部

＜臨床検査学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	23
7. その他全般的事項	24

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人日本医療大学

## (2) 大学名

日本医療大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒062-0053

北海道札幌市豊平区月寒東 3 条 11 丁目 1 番 50 号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を ( ) 書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	ツシマ ノリアキ 対馬 徳昭 (平成5年4月)		
学長	(オオタマコト) 太田 誠 (令和2年4月)		
学部長	(オオタマコト) 太田 誠 (令和2年4月)		
学科長等	(シナガワ マサアキ) 品川 雅明 (令和3年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ( ) 書きで記入してください。  
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)  
令和3年度に報告する内容 → (3)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載 (昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正) するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
保健医療学部 臨床検査学科  学士（臨床検査学）	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	年 4	人 60	年次 0人	人 240		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	1.20倍	倍	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A									1.20				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	72 [ — ]	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次			/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
4年次	/				[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
計			[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	72 [ — ] (—)	

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	0人	0人	平成29年度	人	人	
平成30年度	0人	0人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	0人	0人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	0人	0人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	72人	0人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合計		0人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{72} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



形態検査学	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
細胞検査学実習	3前	1			2					1	
臨床血液学Ⅰ	2前	1					1				
臨床血液学Ⅱ	2後	1					1				
臨床血液学実習Ⅰ	2後	1			1		1			1	
臨床血液学実習Ⅱ	3前	1			1		1			1	
病理検査学総合演習	3後	1			1						
血液検査学総合演習	4前	1					1				
一般検査学Ⅰ	1後	1					1				
一般検査学Ⅱ	2前	1					1				
一般検査学実習	2前	1			1		1			1	
臨床化学Ⅰ	1後	1					1				
臨床化学Ⅱ	2前	2			1						
臨床化学実習Ⅰ	2前	1			1		1			1	
臨床化学実習Ⅱ	2後	1			1		1			1	
遺伝子・染色体検査学	3前	1			1		1				
遺伝子検査学実習	3後	1			2						
一般検査学総合演習	3後	1					1				
分析検査学総合演習	3後	1			1						
医動物学	2後	1					1				
微生物学	2前	1			1						
臨床微生物学Ⅰ	2後	1			1		1				
臨床微生物学Ⅱ	3前	1			1		1				
臨床微生物学実習Ⅰ	2後	1			1		1			1	
臨床微生物学実習Ⅱ	3前	2			1		1			1	
臨床免疫学Ⅰ	2前	1					1				
臨床免疫学Ⅱ	2後	1					1				
臨床免疫学実習Ⅰ	2後	1					1	1		1	
臨床免疫学実習Ⅱ	3前	1					1	1		1	
輸血・移植検査学	3前	1					1				
輸血検査学実習	3後	1					2			1	
微生物検査学総合演習	4前	1					1				
免疫検査学総合演習	4前	1					1				
臨床生理学Ⅰ	2前	1			1						
臨床生理学Ⅱ	2前	1					1				
臨床生理学Ⅲ	2後	1					1				
臨床生理学Ⅳ	3前	1			1						
認知症検査概論	3後	1								1	
臨床生理学実習Ⅰ	2後	2			1		1			1	
臨床生理学実習Ⅱ	3前	2			1		1			1	
生理機能検査学総合演習	4前	1			1						
検査機器総論演習Ⅰ	1後	1			3		1				
検査機器総論演習Ⅱ	1後	1			4		3				
専門検査技師総論	3後	1			3		3			1	
臨床検査管理学Ⅰ	3後	1			1		1				
臨床検査管理学Ⅱ	3後	1			1		1			1	
臨床検査マネジメント論	3後	1					1				
関係法規	3前	1					1				
臨床検査総合実習	4前	1			5		5	1			
感染管理学	2前	1					1	1			
医療安全管理学	2前	1					1	1			
医療安全管理学実習	2前	1					2	1			
臨地実習	4後	7			5	0	5	1	0		
卒業研究	4通	4			5	0	5	1	0		
小計(65科目)	-	81	0	0	5	0	5	2	0	17	
合計(114科目)	-	114	16	0	5	0	5	2	0	36	
卒業要件及び履修方法											
(1)基礎教育科目 20単位以上(必修10単位 選択10単位以上*) * 選択11単位は「人間と生活」選択10単位から6単位以上 「科学的思考の基礎」選択3単位から2単位以上 「語学」選択3単位から2単位以上 (2)専門基礎教育科目 23単位(必修23単位) (3)専門教育科目 81単位(必修81単位)											
卒業要件 124単位以上 必修114単位 選択10単位以上 (履修科目の登録上の上限:23単位/学期、45単位/年間)											

形態検査学	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
細胞検査学実習	3前	1			2					1	
臨床血液学Ⅰ	2前	1					1				
臨床血液学Ⅱ	2後	1					1				
臨床血液学実習Ⅰ	2後	1			1		1			1	
臨床血液学実習Ⅱ	3前	1			1		1			1	
病理検査学総合演習	3後	1			1						
血液検査学総合演習	4前	1					1				
一般検査学Ⅰ	1後	1					1				
一般検査学Ⅱ	2前	1					1				
一般検査学実習	2前	1			1		1			1	
臨床化学Ⅰ	1後	1					1				
臨床化学Ⅱ	2前	2			1						
臨床化学実習Ⅰ	2前	1			1		1			1	
臨床化学実習Ⅱ	2後	1			1		1			1	
遺伝子・染色体検査学	3前	1			1		1				
遺伝子検査学実習	3後	1			2						
一般検査学総合演習	3後	1					1				
分析検査学総合演習	3後	1			1						
医動物学	2後	1					1				
微生物学	2前	1			1						
臨床微生物学Ⅰ	2後	1			1		1				
臨床微生物学Ⅱ	3前	1			1		1				
臨床微生物学実習Ⅰ	2後	1			1		1			1	
臨床微生物学実習Ⅱ	3前	2			1		1			1	
臨床免疫学Ⅰ	2前	1					1				
臨床免疫学Ⅱ	2後	1					1				
臨床免疫学実習Ⅰ	2後	1					1	1		1	
臨床免疫学実習Ⅱ	3前	1					1	1		1	
輸血・移植検査学	3前	1					1				
輸血検査学実習	3後	1					2			1	
微生物検査学総合演習	4前	1					1				
免疫検査学総合演習	4前	1					1				
臨床生理学Ⅰ	2前	1			1						
臨床生理学Ⅱ	2前	1					1				
臨床生理学Ⅲ	2後	1					1				
臨床生理学Ⅳ	3前	1			1						
認知症検査概論	3後	1								1	
臨床生理学実習Ⅰ	2後	2			1		1			1	
臨床生理学実習Ⅱ	3前	2			1		1			1	
生理機能検査学総合演習	4前	1			1						
検査機器総論演習Ⅰ	1後	1			3		1				
検査機器総論演習Ⅱ	1後	1			4		3				
専門検査技師総論	3後	1			3		3			1	
臨床検査管理学Ⅰ	3後	1			1		1				
臨床検査管理学Ⅱ	3後	1			1		1			1	
臨床検査マネジメント論	3後	1					1				
関係法規	3前	1					1				
臨床検査総合実習	4前	1			5		5	1			
感染管理学	2前	1					1	1			
医療安全管理学	2前	1					1	1			
医療安全管理学実習	2前	1					2	1			
臨地実習	4後	7			5	0	5	1	0		
卒業研究	4通	4			5	0	5	1	0		
小計(65科目)	-	81	0	0	5	0	5	2	0	17	
合計(114科目)	-	114	16	0	5	0	5	2	0	36	
卒業要件及び履修方法											
(1)基礎教育科目 20単位以上(必修10単位 選択10単位以上*) * 選択11単位は「人間と生活」選択10単位から6単位以上 「科学的思考の基礎」選択3単位から2単位以上 「語学」選択3単位から2単位以上 (2)専門基礎教育科目 23単位(必修23単位) (3)専門教育科目 81単位(必修81単位)											
卒業要件 124単位以上 必修114単位 選択10単位以上 (履修科目の登録上の上限:23単位/学期、45単位/年間)											



(1)－②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

[該当なし]

【令和元年度】

[該当なし]

【令和2年度】

[該当なし]

【令和3年度】

[該当なし]

- (注)・ 2(1)－① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
114 科目	16 科目	0 科目	130 科目	[ ] 科目	[ ] 科目	[ ] 科目	[ ] 科目	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{130} = \boxed{0\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	35,418.28㎡	0㎡	0㎡	35,418.28㎡			
	運動場用地	13,710㎡	0㎡	0㎡	13,710㎡			
	小 計	49,128.28㎡	0㎡	0㎡	49,128.28㎡			
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡			
	合 計	49,128.28㎡	0㎡	0㎡	49,128.28㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	9,885.93㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	9,885.93㎡ ( 0㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	30室	48室	35室	2室 (補助職員 人)	情報処理室と共用 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	保健医療学部 臨床検査学科			12 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
				電子ジャーナル 〔うち外国書〕				
		臨床検査学科	543 [30] ( 543 [30] )	5 [0] ( 5 [0] )	1 [0] ( 1 [0] )	22 ( 22 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )
	計	543 [30] ( 543 [30] )	5 [0] ( 5 [0] )	1 [0] ( 1 [0] )	22 ( 22 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	1670.00㎡		270席		84,240冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	930.00㎡		スポーツジム					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	9,717千円	0千円	0千円
		共同研究費等	0千円	3,000千円	設備購入費	87,000千円	0千円	0千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,900千円	1,600千円	1,600千円	1,600千円	—千円	—千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		寄附金、補助金等による						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	日本医療大学						学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	1	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
保健医療学部	4	430	0	1180		1.05	1.05	令和3	平成26	-	
看護学科	4	150	0	430	学士(看護学)	1.10	1.10	令和3	平成26		北海道札幌市豊平区月寒第3条11丁目1番50号
リハビリテーション学科	4	120	0	440	学士(リハビリテーション学)	0.93	0.93	平成30	平成27	同上	
理学療法学専攻	4	80	0	280	学士(リハビリテーション学)	1.04	1.04	平成30	平成27	同上	
作業療法学専攻	4	40	0	160	学士(リハビリテーション学)	0.79	0.79		平成27	同上	
診療放射線学科	4	100	0	250	学士(診療放射線学)	1.22	1.22	令和3	平成28	同上	
臨床検査学科	4	60	0	60	学士(臨床検査学)	1.20	1.20		令和3	同上	
大学全体	4	430	0	1180	-	1.045	1.05	令和3	平成26	-	
大学の名称	〇〇短期大学						学生募集停止学科数		平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数		備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<保健医療学部 臨床検査学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名					
専任	教授	品川 雅明 (52) <令和1年10月1日> 博士(医学)	臨床検査総論演習 チーム医療論 臨床検査入門 検査機器総論演習Ⅰ 検査機器総論演習Ⅱ			「該当なし」					「該当なし」				「該当なし」		専任	教授	品川 雅明 (52) <令和1年10月1日> 博士(医学)	臨床検査総論演習 チーム医療論 臨床検査入門 検査機器総論演習Ⅰ 検査機器総論演習Ⅱ				
専任	教授	浅沼 広子 (60) <令和3年4月1日> 博士(医学)	解剖学 解剖学演習 組織細胞学実習 障害学持論 臨床検査入門										専任	教授	浅沼 広子 (60) <令和3年4月1日> 博士(医学)	解剖学 解剖学演習 組織細胞学実習 障害学持論 臨床検査入門					専任	教授	浅沼 広子 (60) <令和3年4月1日> 博士(医学)	解剖学 解剖学演習 組織細胞学実習 障害学持論 臨床検査入門
専任	教授	徳永 祐一 (53) <令和3年4月1日> 博士(医学)	解剖学演習 組織細胞学 組織細胞学実習 病理学 検査機器総論演習Ⅰ										専任	教授	徳永 祐一 (53) <令和3年4月1日> 博士(医学)	解剖学演習 組織細胞学 組織細胞学実習 病理学 検査機器総論演習Ⅰ					専任	教授	徳永 祐一 (53) <令和3年4月1日> 博士(医学)	解剖学演習 組織細胞学 組織細胞学実習 病理学 検査機器総論演習Ⅰ
専任	教授	梅森 祥央 (54) <令和3年4月1日> 博士(医学)	化学 障害学持論 生化学Ⅱ 臨床検査入門 検査機器総論演習Ⅰ 検査機器総論演習Ⅱ										専任	教授	梅森 祥央 (54) <令和3年4月1日> 博士(医学)	化学 障害学持論 生化学Ⅱ 臨床検査入門 検査機器総論演習Ⅰ 検査機器総論演習Ⅱ					専任	教授	梅森 祥央 (54) <令和3年4月1日> 博士(医学)	化学 障害学持論 生化学Ⅱ 臨床検査入門 検査機器総論演習Ⅰ 検査機器総論演習Ⅱ
専任	講師	湊谷 斉 (59) <令和3年4月1日>	生化学Ⅰ 一般検査学Ⅰ 臨床化学Ⅰ 検査機器総論演習Ⅰ										専任	講師	湊谷 斉 (59) <令和3年4月1日>	生化学Ⅰ 一般検査学Ⅰ 臨床化学Ⅰ 検査機器総論演習Ⅰ					専任	講師	湊谷 斉 (59) <令和3年4月1日>	生化学Ⅰ 一般検査学Ⅰ 臨床化学Ⅰ 検査機器総論演習Ⅰ
専任	助教	磯辺 正道 (56) <令和3年4月1日>	障害学持論 臨床病棟検査概論 保健医療福祉概論										専任	助教	磯辺 正道 (56) <令和3年4月1日>	障害学持論 臨床病棟検査概論 保健医療福祉概論					専任	助教	磯辺 正道 (56) <令和3年4月1日>	障害学持論 臨床病棟検査概論 保健医療福祉概論
専任	教授	西田 睦 <令和4年4月1日> 博士(医学)	臨床検査入門 症例超音波検査学 臨床検査総論演習 臨床生理学Ⅰ 臨床生理学Ⅳ 臨床生理学実習Ⅰ 臨床生理学実習Ⅱ 生理機能検査学総合演習 検査機器総論演習Ⅰ 専門検査技師総論 臨床検査総合実習 臨地実習 卒業研究										専任	教授	西田 睦 <令和4年4月1日> 博士(医学)	臨床検査入門 症例超音波検査学 臨床検査総論演習 臨床生理学Ⅰ 臨床生理学Ⅳ 臨床生理学実習Ⅰ 臨床生理学実習Ⅱ 生理機能検査学総合演習 検査機器総論演習Ⅰ 専門検査技師総論 臨床検査総合実習 臨地実習 卒業研究					専任	教授	西田 睦 <令和4年4月1日> 博士(医学)	臨床検査入門 症例超音波検査学 臨床検査総論演習 臨床生理学Ⅰ 臨床生理学Ⅳ 臨床生理学実習Ⅰ 臨床生理学実習Ⅱ 生理機能検査学総合演習 検査機器総論演習Ⅰ 専門検査技師総論 臨床検査総合実習 臨地実習 卒業研究
兼任	講師	西田 睦 <令和3年4月1日> 博士(医学)	臨床検査入門 検査機器総論演習Ⅱ										兼任	講師	西田 睦 <令和3年4月1日> 博士(医学)	臨床検査入門 検査機器総論演習Ⅱ					兼任	講師	西田 睦 <令和3年4月1日> 博士(医学)	臨床検査入門 検査機器総論演習Ⅱ
専任	講師	高橋 裕之 <令和4年4月1日>	臨床検査入門 症例血液・染色体検査学 臨床検査総論演習 臨床血液学Ⅰ 臨床血液学Ⅱ 臨床血液学実習Ⅰ 臨床血液学実習Ⅱ 血液検査学総合演習 遺伝子・染色体検査学 検査機器総論演習Ⅱ 専門検査技師総論 臨床検査総合実習 臨地実習 卒業研究										専任	講師	高橋 裕之 <令和4年4月1日>	臨床検査入門 症例血液・染色体検査学 臨床検査総論演習 臨床血液学Ⅰ 臨床血液学Ⅱ 臨床血液学実習Ⅰ 臨床血液学実習Ⅱ 血液検査学総合演習 遺伝子・染色体検査学 検査機器総論演習Ⅱ 専門検査技師総論 臨床検査総合実習 臨地実習 卒業研究					専任	講師	高橋 裕之 <令和4年4月1日>	臨床検査入門 症例血液・染色体検査学 臨床検査総論演習 臨床血液学Ⅰ 臨床血液学Ⅱ 臨床血液学実習Ⅰ 臨床血液学実習Ⅱ 血液検査学総合演習 遺伝子・染色体検査学 検査機器総論演習Ⅱ 専門検査技師総論 臨床検査総合実習 臨地実習 卒業研究
兼任	講師	高橋 裕之 <令和3年4月1日>	臨床検査入門 検査機器総論演習Ⅱ										兼任	講師	高橋 裕之 <令和3年4月1日>	臨床検査入門 検査機器総論演習Ⅱ					兼任	講師	高橋 裕之 <令和3年4月1日>	臨床検査入門 検査機器総論演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	担当授業科目名
専任	講師	小池 祐史 ＜令和4年4月1日＞							専任	講師	小池 祐史 ＜令和4年4月1日＞
		公衆衛生学 テーマ医療と臨床検査 症例微生物・感染制御学 臨床検査総論演習 医動物学 臨床微生物学Ⅰ 臨床微生物学Ⅱ 臨床微生物学実習Ⅰ 臨床微生物学実習Ⅱ 微生物検査学総合演習 検査機器総論演習Ⅱ 専門検査技師総論 臨床検査総合実習 感染管理学 臨床実習 卒業研究							専任		公衆衛生学 テーマ医療と臨床検査 症例微生物・感染制御学 臨床検査総論演習 医動物学 臨床微生物学Ⅰ 臨床微生物学Ⅱ 臨床微生物学実習Ⅰ 臨床微生物学実習Ⅱ 微生物検査学総合演習 検査機器総論演習Ⅱ 専門検査技師総論 臨床検査総合実習 感染管理学 臨床実習 卒業研究
兼任	講師	小池 祐史 ＜令和4年3月1日＞							兼任	講師	小池 祐史 ＜令和4年3月1日＞
		検査機器総論演習Ⅱ									検査機器総論演習Ⅱ
専任	講師	林 泰弘 ＜令和4年1日＞ 博士 (保健科学)							専任	講師	林 泰弘 ＜令和4年1日＞ 博士 (保健科学)
		テーマ医療と臨床検査 症例輸血検査学 臨床検査学実習 専門検査技師総論 臨床検査総合実習 医療安全管理学 医療安全管理学実習 臨床実習 卒業研究							専任		テーマ医療と臨床検査 症例輸血検査学 臨床検査学実習 専門検査技師総論 臨床検査総合実習 医療安全管理学 医療安全管理学実習 臨床実習 卒業研究
専任	講師	魚住 諒 ＜令和4年4月1日＞ 博士 (保健科学)							専任	講師	魚住 諒 ＜令和4年4月1日＞ 博士 (保健科学)
		免疫学 臨床検査入門 症例臨床化学・免疫検査学 症例輸血検査学 臨床検査総論演習 臨床免疫学Ⅰ 臨床免疫学Ⅱ 臨床免疫学実習Ⅰ 臨床免疫学実習Ⅱ 輸血・移植検査学 輸血検査学実習 免疫検査学総合演習 検査機器総論演習Ⅱ 臨床検査総合実習 医療安全管理学実習 臨床実習 卒業研究							専任		免疫学 臨床検査入門 症例臨床化学・免疫検査学 症例輸血検査学 臨床検査総論演習 臨床免疫学Ⅰ 臨床免疫学Ⅱ 臨床免疫学実習Ⅰ 臨床免疫学実習Ⅱ 輸血・移植検査学 輸血検査学実習 免疫検査学総合演習 検査機器総論演習Ⅱ 臨床検査総合実習 医療安全管理学実習 臨床実習 卒業研究
兼任	講師	魚住 諒 ＜令和4年3月1日＞ 博士 (保健科学)							兼任	講師	魚住 諒 ＜令和4年3月1日＞ 博士 (保健科学)
		免疫学 臨床検査入門 検査機器総論演習Ⅱ									免疫学 臨床検査入門 検査機器総論演習Ⅱ
専	助教	魚住 愛 ＜令和4年4月1日＞							専	助教	魚住 愛 ＜令和4年4月1日＞
		症例超音波検査学 臨床生理学Ⅱ 臨床生理学Ⅲ 臨床生理学実習Ⅰ 臨床生理学実習Ⅱ									症例超音波検査学 臨床生理学Ⅱ 臨床生理学Ⅲ 臨床生理学実習Ⅰ 臨床生理学実習Ⅱ
兼任	教授	島本 和明 ＜令和3年4月1日＞ 医学博士							兼任	教授	島本 和明 ＜令和3年4月1日＞ 医学博士
		臨床検査医学総論Ⅰ 臨床検査医学総論Ⅱ									臨床検査医学総論Ⅰ 臨床検査医学総論Ⅱ
兼任	教授	松本 真由美 ＜令和3年4月1日＞ 博士 (心理学)							兼任	教授	松本 真由美 ＜令和3年4月1日＞ 博士 (心理学)
		心理学 人間関係の科学 ボランティア論									心理学 人間関係の科学 ボランティア論
兼任	教授	森口 眞衣 ＜令和3年4月1日＞ 博士(文学)							兼任	教授	森口 眞衣 ＜令和3年4月1日＞ 博士(文学)
		倫理学 生命倫理 医療と哲学									倫理学 生命倫理 医療と哲学
兼任	教授	林 美枝子 ＜令和3年4月1日＞ 博士(医学)							兼任	教授	林 美枝子 ＜令和3年4月1日＞ 博士(医学)
		文化人類学 医療と社会 北海道史									文化人類学 医療と社会 北海道史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名						
兼任	教授	山田 敦士 <令和3年4月1日> 博士(文学)					兼任
	日本語表現 中国語						教授
兼任	教授	宮本 篤 <令和4年4月1日> 博士 (薬理学)					兼任
	臨床薬理概論 チーム医療と臨床検査						教授
兼任	助教	新開谷 深 <令和3年4月1日>					兼任
	生活と運動 健康とスポーツ						助教
兼任	教授(予定)	高橋 誠 <令和3年4月1日> 博士(工学)					兼任
	医用工学 医用工学実習						教授(予定)
兼任	助教	加川 宗芳 <令和3年4月1日> 修士(工学)					兼任
	医用工学実習						助教
兼任	講師	三瀬 敬治 <令和3年4月1日> 博士(医学)					兼任
	生命科学 生物学 数学(統計学)						講師
兼任	講師	當瀬 規嗣 <令和3年4月1日> 博士(医学)					兼任
	生理学Ⅰ 生理学Ⅱ						講師
兼任	講師	福元 達也 <令和4年4月1日> 博士(医学)					兼任
	臨床微生物学実習Ⅰ						講師
兼任	講師	旗手 俊彦 <令和3年4月1日> 学術博士 (法学)					兼任
	法学						講師
兼任	講師	高塚 伸太郎 <令和3年4月1日> 博士(工学)					兼任
	物理学						講師
兼任	講師	廣田 健一 <令和3年4月1日> 博士(工学)					兼任
	情報科学 情報科学演習						講師
兼任	講師	畑瀬 理恵 <令和5年4月1日>					兼任
	臨床免疫学実習Ⅱ						講師
兼任	講師	久保 ちづる <令和3年4月1日>					兼任
	臨床栄養概論						講師
兼任	講師	八重 櫻昭徳 <令和4年4月1日>					兼任
	公衆衛生学						講師

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
兼任	講師	増田 裕弥 <令和4年4月1日>									兼任	講師	増田 裕弥 <令和4年4月1日>	増田 裕弥 <令和4年4月1日>
		臨床血液学実習Ⅰ												臨床血液学実習Ⅰ
兼任	講師	小林 美穂 <令和4年4月1日>									兼任	講師	小林 美穂 <令和4年4月1日>	小林 美穂 <令和4年4月1日>
		一般検査学実習												一般検査学実習
兼任	講師	畑瀬 正尚 <令和4年4月1日>									兼任	講師	畑瀬 正尚 <令和4年4月1日>	畑瀬 正尚 <令和4年4月1日>
		臨床免疫学実習Ⅰ												臨床免疫学実習Ⅰ
兼任	講師	中鉢 雄大 <令和4年4月1日>									兼任	講師	中鉢 雄大 <令和4年4月1日>	中鉢 雄大 <令和4年4月1日>
		臨床生理学実習Ⅰ												臨床生理学実習Ⅰ
兼任	講師	民谷 健太郎 <令和5年4月1日>									兼任	講師	民谷 健太郎 <令和5年4月1日>	民谷 健太郎 <令和5年4月1日>
		救命救急検査概論												救命救急検査概論
兼任	講師	神谷 奈保子 <令和3年4月1日>									兼任	講師	神谷 奈保子 <令和3年4月1日>	神谷 奈保子 <令和3年4月1日>
		コミュニケーション学 日本語表現 教育学												コミュニケーション学 日本語表現 教育学
兼任	講師	赤間 荘太 <令和3年4月1日>									兼任	講師	赤間 荘太 <令和3年4月1日>	赤間 荘太 <令和3年4月1日>
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ												英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ
兼任	講師	韓 然善 <令和4年4月1日>									兼任	講師	韓 然善 <令和4年4月1日>	韓 然善 <令和4年4月1日>
		韓国語												韓国語
兼任	講師	黒澤 美沙紀 <令和5年4月1日>									兼任	講師	黒澤 美沙紀 <令和5年4月1日>	黒澤 美沙紀 <令和5年4月1日>
		臨床血液学実習Ⅱ												臨床血液学実習Ⅱ
兼任	講師	齋藤 和 <令和5年4月1日>									兼任	講師	齋藤 和 <令和5年4月1日>	齋藤 和 <令和5年4月1日>
		臨床生理学実習Ⅱ												臨床生理学実習Ⅱ
兼任	講師	今川 誠 <令和4年4月1日>									兼任	講師	今川 誠 <令和4年4月1日>	今川 誠 <令和4年4月1日>
		病理検査学実習												病理検査学実習
兼任	講師	森谷 純 <令和5年4月1日>									兼任	講師	森谷 純 <令和5年4月1日>	森谷 純 <令和5年4月1日>
		細胞検査学実習												細胞検査学実習
兼任	講師	木田 秀幸 <令和4年4月1日>									兼任	講師	木田 秀幸 <令和4年4月1日>	木田 秀幸 <令和4年4月1日>
		臨床化学実習Ⅰ												臨床化学実習Ⅰ
兼任	講師	志保 裕行 <令和4年4月1日>									兼任	講師	志保 裕行 <令和4年4月1日>	志保 裕行 <令和4年4月1日>
		臨床化学実習Ⅱ 臨床検査管理学Ⅱ												臨床化学実習Ⅱ 臨床検査管理学Ⅱ



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	和田 直樹 <令和5年4月1日>							兼任	講師	和田 直樹 <令和5年4月1日>
		臨床微生物学実習Ⅱ									臨床微生物学実習Ⅱ
兼任	講師	三浦 邦彦 <令和5年4月1日>							兼任	講師	三浦 邦彦 <令和5年4月1日>
		輸血検査学実習									輸血検査学実習
兼任	講師	太田 悠 <令和5年4月1日>							兼任	講師	太田 悠 <令和5年4月1日>
		専門検査技師総論									専門検査技師総論
兼任	講師	佐藤 さなえ <令和5年4月1日>							兼任	講師	佐藤 さなえ <令和5年4月1日>
		認知症検査概論									認知症検査概論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、括めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

[該当なし]

【令和元年度】

[該当なし]

【令和2年度】

[該当なし]

【令和3年度】

・科目「生活と運動」及び「健康とスポーツ」の担当を新開谷 深(兼任・助教)から井上 和佳奈(兼任・助教)に変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
6	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
5	0	5	2	12	0	4	0	1	1	6	0
(4)	(0)	(1)	(1)	(6)	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
5	0	5	2	12	0	5	0	5	2	12	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受理済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{12} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		[該当なし]					
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由
	計	科目	計	科目	計	科目	計

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		[該当なし]					
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由
	計	科目	計	科目	計	科目	計

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)		
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由
	計	科目	計	科目	計	科目	計

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{12} = 0 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

□人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		[該当なし]						
合計				後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
---

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

[該当なし]
--------

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画	
認 可 時 (令和3年)	1. カリキュラム・ポリシーにおいて、科目の配置の方針だけでなく科目の体系性や学修方法を示し、学生が教育方針を理解しやすくなるよう改めた上で、教育・研究指導を行うこと。	遵守事項 履修について、シラバスに「各科目区分の教育目標」、「履修登録から単位取得までのフローチャート」、「教育課程進度表」、「履修科目一覧」、「カリキュラム・マップ」など科目の体系性や学修方法を記載し、さらに、入学時オリエンテーション時（4月5日実施）に学生に教育方針についてこれらを指導した。 また、キャンパスガイドには履修に関する各基準や注意点を記載しており、これらについても入学時オリエンテーション時に指導した。	履行済	
認 可 時 (令和3年)	2. 臨地実習評価について、各評価表や報告等を「総合的に評価し、教授会において単位を認定する」とあるが、評価の透明性を担保するため、評価割合をシラバスや臨地実習要綱に記載すること。	遵守事項 臨地実習の評価方法について以下に修正し、シラバス及び臨地実習要綱に記載した。「臨地実習指導者からの臨地実習評価表（80%）、目標設定カード、臨地実習記録、臨地実習レポート、巡回する実習担当教員からの報告及び終了後の報告会（20%）で評価し、教授会において単位を認定する」	履行済	
認 可 時 (令和3年)	3. レポートでの成績評価が100%となっている科目や演習科目について、例えば、レポートは毎回の授業後に提出するものであるのか等、評価方法の詳細が分かりにくいものが散見されるため、各科目の達成目標と評価の適切性及び整合性を精査した上で、詳細を記載すること。また、その評価設定の考え方を学生に示すことが望ましい。	遵守事項 「レポート100%」とした以下13科目（臨床検査入門、地域医療連携学、チーム医療と臨床検査、症例細胞診検査学、症例血液・染色体検査学、症例微生物・感染制御学、症例臨床化学・免疫検査学、症例輸血検査学、症例超音波検査学、検査機器総論演習Ⅰ、検査機器総論演習Ⅱ、専門検査技師総論、臨床検査総合実習、）について、レポートの記載内容、提出の回数・時期及び提出期日についてシラバスに追記し、学生に示すこととした。	履行済	

認可時 (令和3年)	4. 教育・研究力の充実のため、大学全体としてFDを実施し、より一層の体制強化を行うこと。	遵守事項	本学のFD活動に加え、臨床検査学科の教員としては、本学の令和3年度学術助成金制度を利用し、教授が中心となり講師及び助教と協働した形で、学術研究（4題）、教育向上のための研究（2題）に取り組んでいる。また、今後は教授が中心となり科学研究費の取得などに向けて教育力及び研究力の向上に向け、教育研究活動を積極的に推進していく。	履行済	
認可時 (令和3年)	5. 運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	遵守事項	体育系の授業科目については、体育館を利用している。車で20分程度離れた別キャンパス（真栄キャンパス）の運動場を利用する場合は、学生の移動に際しては、スクールバスを用いる対応としている。	履行中	今後のスクールバスの運行状況を踏まえながら、学生の教育及び課外活動に支障のない移動手段の確保を進めていく。
認可時 (令和3年)	6. 教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開講時まで確実に専任教員を配置して教員を充足すること。	遵守事項	現在、「遺伝子検査学実習（開講：3年次後期）」の専任教員の補充について選定を進めている。	履行中	

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<保健医療学部 臨床検査学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
[該当なし]	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 [該当なし]</p> <p>b 実施方法 [該当なし]</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） [該当なし]</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 [該当なし]</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 [該当なし]</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 [該当なし]</p>
---

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）



(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

[該当なし]

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

[該当なし]

c 委員会の審議事項等

[該当なし]

d その他

[該当なし]

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

[該当なし]

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

[該当なし]

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

[該当なし]

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  
[該当なし]

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

[該当なし]

b 公表方法

記入例）

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布
- ・大学ホームページ上に公開予定（令和3年8月末を予定）

[該当なし]

③ 認証評価を受ける計画  
(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

[該当なし]

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( ) ]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。